

PROFILE
05 総務省情報通信国際戦略局
参事官
山田 真貴子 Yamada Makiko

経歴

昭和59年	4月	郵政省採用
昭和59年	8月	同 通信政策局国際企画課
昭和62年	7月	英国留学(ロンドン大学)
昭和63年	6月	郵政省放送行政局業務課国際放送係長
平成2年	7月	下田郵便局長
平成3年	6月	郵政省貯金局営業課課長補佐
平成6年	7月	同 大臣官房国際部国際政策課課長補佐
平成9年	7月	同 大臣官房人事部人材開発課調査官
平成11年	7月	文部省学術国際局学術情報課学術情報基盤整備推進室長
平成13年	7月	総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課電気通信利用環境整備室長
平成15年	6月	同 総合通信基盤局総務課調査官
平成16年	2月	世田谷区助役
平成19年	4月	同 副区長
平成19年	7月	総務省総合通信基盤局国際部国際政策課長
平成20年	7月	同 情報通信国際戦略局国際政策課長
平成21年	7月	同 総合通信基盤局総務課長
平成22年	7月	同 大臣官房会計課長
平成23年	7月	現職

情報通信ネットワークは心をつなぎいのちを守る

Schedule
ある1日のスケジュール

6:40	9:20	11:00	12:50	14:40	16:30	18:30
起床 息子と自分のお弁当を作り、朝食用に果物・野菜スムージーを飲む。1日の始まり。	自民党本部で総務部会に出席 部屋に入りきらない程の出席者。補正予算案の説明に対し、国会議員の先生方から質問。放送コンテンツの海外展開や情報セキュリティについてご関心が高く、できるだけ丁寧に回答。	大臣レク 局長、総括審議官、関係課長とともに大臣室に入り、これからの政策検討体制についてご相談。	働く女性の異業種交流勉強会に出席 私が世話人を務めているこの勉強会は、3年以上続いている。今日は、某企業のトップをお招きし、食事をしながら意見交換。今日も帰宅は遅くなりそう。	出勤 新聞のクリッピングをチェック。補正予算の動きが各所で活発になっている。こちらも頑張ろう！	部会から戻って少し遅めの昼食 最近、カロリーコントロールと栄養バランスを考え、できるだけお弁当を持参。	情報通信白書について局内で打合せ 7月発表の白書のテーマや調査設計について、担当室と議論。米国の製造業の新しい動きをもっと詳細に調べようということに。

PROJECT

情報通信が変える未来を提示する

インターネット、スマートフォンに代表される情報通信サービスは、私たちの日常生活に深く入り込み、必要不可欠なツールとなるだけでなく、大きく社会経済を変えつつあります。また、その変革は、国内にとどまらず、全世界を巻き込み、地球全体を一体化、フラット化していると言えます。情報通信技術が日本の元気の源泉となり、さらに、日本社会・国際社会が抱える複雑な課題の解決に貢献するよう、

- ①情報通信サービスの利活用推進、災害に強い情報通信インフラ構築の推進などの重点施策を省内だけでなく、政府内、国会、民間の関係者などのご意見を聞きながら政府予算として取りまとめ、推進します。
- ②情報通信の現状と将来像を「情報通信白書」として取りまとめ、閣議報告を経て発表し、政策の方向性を提示します。

予算の取りまとめ役として

17兆2329億円。
何の金額がお分かりになりますか？平成25年度の総務省当初予算(政府案)の総額です(※)。私は、ここ3年ほど、省全体の予算の責任者として、あるいは、情報通信関係施策の予算の取りまとめ役として、予算業務に携わっています。
予算は、どの費目に幾らの歳出を当てるか、「項目」とそれに該当する「金額」の羅列ではありませんが、政府として、どの施策を重点的に行うか、「重点施策の表現」でもあります。納めて頂いた税金を国民生活の向上のためにどう使うか、この重要な課題に応えるためには、多くの作業が必要となります。

予算の作業は、概算要求の相当前から実質的にスタートします。審議会などで様々な課題の議論を行い、パブリックコメントなども経て取りまとめる報告書には、予算施策を含め政策の方向性が盛り込まれます。それらの施策を、要求枠の中にメリハリをつけて割り振り、大臣はじめ政務とのご議論、ご指示を頂いたうえで、要求原案を作ります。さらに、与党の議論・了承を得て、概算要求として財務省に提出します。要求後も、財務省説明、野党説明など年末まで息を抜く暇のない作業が続きます。最近では大型の補正予算が組まれることも多く、切れ目なく予算作業があると言っても過言ではない状況です。

東日本大震災時には、携帯電話がつかいづらく大変な思いをされた方も多いのではないのでしょうか。災害時に自分や家族の命を守るため、情報がどれだけ重要か、私たちは身をもって知ることとなりました。災害に強い携帯等の実現に向けた研究開発や補助事業にも予算を確保しています。その他、サイバーセキュリティ、最先端技術の研究開発や海外展開など、多くの課題に十分な予算を配分するのはなかなか大変で、省内外の調整に走り回る毎日が続きます。
※地方交付税等財源繰入れを含みます。

消費者行政から自治体の舵取りまで

就職以来、様々な経験をさせて頂いていま

すが、印象深い仕事のひとつは、電気通信の消費者行政施策の責任者として、多くの法律を手掛けたことです。インターネットが急速に普及し始めた時期であり、迷惑メールや違法有害情報などの新たな課題が次々に持ち上がっていました。「プロバイダ責任制限法」は、当時作った法律の一つですが、10年間で最高裁を含め40近い判決例が出ています。それだけインターネットの利用について、新たなルールが必要とされているということでしょう。

地域社会に密着した行政に携わることも総務省ならではの経験です。私は、東京都世田谷区の副区長として、3年半にわたり福祉やまちづくりに取り組みました。住民の皆さんの個々の要望に日々、直接に接しながら、政策を作り実現していきました。全てが上手く運ぶとは限りませんが、職員と熱く議論し、新しい保育サービスを実現したことなど、自治体での経験は私の大切な糧となっています。

一人の生活者として

公務員としての仕事のためにも、家庭、地域社会での当たり前の生活を大切にしたいと思っています。中学生になった息子は、今はもう私の身長を追い越してしまいましたが、幼児の頃は議会答弁の前日など大切な時に限って高熱を出し、夜中におぶって救急に駆け込むこともありました。上司・部下の理解をいただき、実質的にテレワークも取り入れながら、何とか好きな仕事を続けさせていただいています。(もちろん、家事育児を見事にシェアしてくれている夫にも感謝です！)

一緒に未来予想図を作っていきましょう

携帯電話やインターネットはますます社会に浸透し、これまで人類が経験したことのない社会変革が起きています。コミュニケーションはもちろん、教育、ものづくり、農業など、あらゆる営みが情報通信技術によって変わる時代が来ています。ぜひ、一緒に未来予想図を作っていきましょう。お待ちしております。



打ち合わせ中の筆者

若手職員の声



情報通信国際戦略局
情報通信政策課

山川 真梨恵
(平成24年入省)

情報通信政策課は非常に大きな課で、業務は多岐にわたりますが、私はその中でも、情報通信分野における政府と総務省の架け橋の役割を担う仕事をしています。総務省の情報通信分野全体を取りまとめ、局内外を調整する中で、省全体や政府の動きを見渡すことができ、非常に勉強になる職場だと日々感じています。また、様々な課とやりとりする機会が多いことから、省内の知り合いが増えることも、この課の良いところの一つです。仕事に一区切りがついたときなどは、関係課の皆さんと飲み会を開くことも多く、職場から一歩離れたところで様々なお話をしながらお酒を飲む時間は、普段とはまた違う特別な時間です。
そんな課の中で、一際輝きを放っていらっしゃるのが山田参事官です。どんなときも強いリーダーシップで、課のみならず、局全体を引っ張ってくださいます。そんな参事官も、家庭では一児の母。毎日お弁当も作っていらっしゃるのか。仕事のみならず家庭も両立していらっしゃる山田参事官は女性職員の憧れです。目標となるカッコいい先輩方の後ろ姿を見ながら、日々成長できる、そんな職場に恵まれたことを非常に嬉しく思っています。